



おしえて！
東通村のおしごと♪

～番外編～

「東通村♥PR研修」レポート



7月15～17日の3日間、仙台市において「ひがしどおり観光物産展」が開催されました。

物産展では、村直送の東通牛や旬のほたて等の物販の他、鹿橋青年会による能舞公演等が行われました。

また、物産展には、村特産品やPRの手法を学ぶ「東通村♥PR研修」の一環として、新採用職員6名もスタッフとして参加し、来場者へ村をPRしました。職員6名は参加に際し、村の立地や特産品について事前に勉強し、特産品を実際に試食して風味を覚えて研修に臨みました。

2日連続で来場される方もおり、物産展は大盛況のうちに、幕を閉じました。

新採用職員の声 ～研修レポート～

総務課 伊勢田 柚

レジ業務の補佐を担当しました。販売業、接客業の大変さ、PRした内容が人の心に伝わることの嬉しさ、接客をする際の振る舞いや職員同士のコミュニケーションについて学ぶことができました。

建築住宅課 太田 恭介

商品を販売する仕事は初めてだったため、何も分からない状態からのスタートでした。

“笑顔とお声がけだけは徹底しよう”と決めて臨みました。接客する際、商品への知識や味の説明をする点で、まだ不足していると感じる場面もあり、想定外の質問にたじろいってしまったことも反省点です。しかし、今回の物産展で、村の魅力をPRできたことが何より嬉しかったです。次も機会があれば参加したいです。

建設課 須道 汰優

販売対応で、接客の難しさを経験しました。いざ、お客様と対面すると、上手に話そうという意識から、口が堅くなりPRできず、苦い経験をしましたが、身になる時間を過ごせました。生まれ育った村が29集落あること、尻屋埼灯台の歴史の凄さ等、まだ知らなかった村の魅力について気付くことができました。この先も魅力ある東通村であるために、率先して盛り上げていきたいと思いました！

農林畜産課 田中 琉稀

販売対応をしてみて、言葉の使い方や伝え方がとても大事だと感じ、改めてコミュニケーションの重要性を学ぶことができました。

住民課 濱端 元一

東通村には沢山の特産品があり、農産物、東通牛、海産物が会場いっぱいになると、改めて村の豊かさを感じました。ほたてを販売し「昨日買ったら大変美味しかったのでまた今日も買いに来た」というお客様も、1人や2人ではありませんでした。物産展は1日立ちっぱなしで、終わるとへとへとでしたが、次の日も買いに来て下さるお客様がいて、喜んでいただけたという手ごたえを感じました。

教育委員会 山本 卓人

他県の方々が、どのような商品を求めているのか等を知ることができました。

特に、うに、ほたて等の海産物は、初日に購入された方が、次の日も購入され、沢山の方に人気だと感じました。私は鹿橋青年会にも所属しており、能舞公演では、沢山の方々に来場いただき、喜んでもらえたので、披露してよかったと思います。